

福井工業高等専門学校		開講年度	令和04年度（2022年度）		授業科目	保健体育Ⅰ（剣道）（F4）	
科目基礎情報							
科目番号	0009			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	1年混合学級（一般教育科目）			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	ステップアップ・高校スポーツ2022（大修館書店）						
担当教員	瀧口 正之,青木 宏樹						
到達目標							
（１）剣道の特性を通じて礼節ある学生となる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	欠席、遅刻、早退、見学がほとんどなく、忘れ物もなく、安全かつ主体的に授業に取り組むことができる。			欠席、遅刻、早退、見学が少なく、忘れ物も少なく、安全かつ積極的に授業に取り組むことができる。		欠席、遅刻、早退、見学が多く、または忘れ物が多い。もしくは、安全かつ積極的に授業に取り組むことができない。	
評価項目2	効率的技術を有している、または効果的プレーができるほか、自己やチームの課題に対して適切な取り組みや工夫ができる。			基本技術が身についている、または基本的なプレーができるほか、自己やチームの課題に対して適切な取り組みができる。		基本技術が身についていない、または基本的なプレーができない。もしくは、自己やチームの課題に対して適切な取り組みができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RE1 学習・教育到達度目標 RE2 学習・教育到達度目標 RE3							
教育方法等							
概要	日本古来の伝統スポーツ文化である「剣道」の講義・実技の授業を通して、剣道での動き（技術）および礼儀作法（精神）などを教授する。						
授業の進め方・方法	講義による授業も実施するが、主に実技を実施しながら学習を深めていく。						
注意点	実技実施においては毎回安全に最大の注意を払うこととする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 講義による剣道授業への導入		剣道授業の取り組み方について理解し、安全管理や必要な用具の準備ができる。		
		2週	実技 剣道具および基本姿勢・基本動作について		剣道具の正しい取り扱いについて理解し、基本姿勢・基本動作ができる。		
		3週	実技 構えと足さばきについて		構えと足さばきについて理解し、適切な動きができる。		
		4週	実技 打突の基本とその受け方①		打突とその受け方について理解し、適切な動きができる。		
		5週	実技 打突の基本とその受け方②		打突とその受け方について理解し、適切な動きができる。		
		6週	実技 打ち込み稽古①		打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		7週	実技 打ち込み稽古②		打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		8週	中間試験 筆記試験				
	2ndQ	9週	実技 約束練習①		約束練習について理解し、適切な練習ができる。		
		10週	実技 約束練習②		約束練習について理解し、適切な練習ができる。		
		11週	実技 切り返しと打ち込み①		切り返しと打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		12週	実技 切り返しと打ち込み②		切り返しと打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		13週	実技 総合練習		これまで学習した技術を使って、試合形式の練習ができる。		
		14週	実技 総合練習		これまで学習した技術を使って、試合形式の練習ができる。		
		15週	実技テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	筆記試験		実技試験		取り組み	合計	
総合評価割合	40		40		20	100	
横断的能力	40		40		20	100	